



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 セントラルフォレストグループ株式会社

コード番号 7675

URL <http://www.centralforestgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永津 嘉人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 神谷 亨

TEL 052-671-4145

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	209,385	—	63	—	261	—	143	—
2019年12月期第3四半期	146,509	—	600	—	850	—	1,274	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 44百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 853百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	16.35	—
2019年12月期第3四半期	193.84	—

(注) 当社は、2019年4月1日に共同株式移転により設立されたこと及び決算期の変更に伴い前期と当期で連結会計期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	89,534	27,900	31.2
2019年12月期	103,992	28,206	27.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 27,900百万円 2019年12月期 28,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	25.00	25.00
2020年12月期	—	15.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年4月1日に共同株式移転により設立されたため、2019年12月期第2四半期までの実績はありません。

3. 2019年12月期 期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当2円50銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	280,000	—	600	—	870	—	560	63.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 3 Q	8,781,749株	2019年12月期	8,781,749株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	—株	2019年12月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 3 Q	8,781,749株	2019年12月期 3 Q	6,575,983株

(注) 前第3四半期連結累計期間の期中平均株式数は、当社が2019年4月1日に株式移転によって設立された会社であるため、会社設立前の2018年10月1日から2019年3月31日までの期間に関しては、株式会社トークンの期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて計算しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料のP.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、2020年12月期の連結業績予想の対前期増減率に関しましては、当社が2019年4月1日設立であること及び決算期の変更に伴い、前期と当期で連結会計期間が異なるため比較は行っておりません。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2019年4月1日に株式会社トークン及び国分中部株式会社が、共同株式移転の方法により両社を完全子会社とする株式移転設立完全親会社として設立されました。設立に際し、株式会社トークンを取得企業として企業結合会計を行っていること及び決算期の変更に伴い、前連結会計年度(2018年10月1日から2019年12月31日まで)の連結経営成績は、取得企業である株式会社トークンの前連結会計年度(2018年10月1日から2019年12月31日まで)の連結経営成績を基礎に、国分中部株式会社の2019年4月1日から2019年12月31日までの経営成績を連結したものであるため、前年同四半期との対比は行っておりません。

また、文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の食品流通業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の国内外での拡大によって緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出やイベント等の自粛要請もあり、先行きの不安や収入減から消費者マインドは悪化し、大変厳しい状況となりました。5月下旬には緊急事態宣言が解除され、政府による経済対策等の効果もあり緊急事態宣言下の最悪期からは徐々に脱しつつあるものの、7月以降再び全国的に感染者数が増加するなど新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しております。外出を控えて自宅で過ごす人のいわゆる「巣ごもり需要」がある一方、外食チェーンの苦戦に加え在宅勤務等による都市部のコンビニエンスストアにおける来店客数の低迷により、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の下、新型コロナウイルスへの感染対策を踏まえた新しい生活様式及び消費行動の変化に対応した売場や商品の提案を実施するとともに、ドライカテゴリーの事業強化及びお取引先様へのサービスレベルの向上を目的に、9月1日より静岡エリアの菓子事業について国分首都圏株式会社から譲受いたしました。また酒類事業におきましても10月1日からの酒税法改正に向けた準備を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,093億85百万円、営業利益は63百万円、経常利益は2億61百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億43百万円となりました。

当社グループは、食品酒類卸売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は895億34百万円となり、前連結会計年度末と比べて144億58百万円の減少となりました。これは主に預け金が14億44百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が123億31百万円、商品及び製品が28億46百万円、現金及び預金が11億95百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は616億33百万円となり、前連結会計年度末と比べて141億51百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が136億62百万円、未払金が7億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

さらに、当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は279億円となり、前連結会計年度末と比べて3億6百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が2億7百万円、その他有価証券評価差額金が56百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,959	10,763
受取手形及び売掛金	46,606	34,275
商品及び製品	9,956	7,109
原材料及び貯蔵品	56	60
未収入金	8,985	9,900
預け金	4,401	5,845
その他	834	704
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	82,797	68,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,434	3,306
土地	4,688	4,688
その他（純額）	731	744
有形固定資産合計	8,853	8,739
無形固定資産	231	258
投資その他の資産		
投資有価証券	9,102	8,873
退職給付に係る資産	486	489
差入保証金	2,272	2,249
その他	259	279
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	12,108	11,879
固定資産合計	21,194	20,877
資産合計	103,992	89,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,113	53,450
未払金	4,744	4,031
未払法人税等	85	107
賞与引当金	243	278
役員賞与引当金	12	4
資産除去債務	—	47
その他	522	712
流動負債合計	72,722	58,631
固定負債		
繰延税金負債	1,681	1,585
退職給付に係る負債	0	0
資産除去債務	425	431
その他	955	984
固定負債合計	3,063	3,002
負債合計	75,785	61,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	6,053	6,053
利益剰余金	16,402	16,194
株主資本合計	24,055	23,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,933	3,877
退職給付に係る調整累計額	217	174
その他の包括利益累計額合計	4,150	4,052
純資産合計	28,206	27,900
負債純資産合計	103,992	89,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	146,509	209,385
売上原価	132,946	191,524
売上総利益	13,562	17,860
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	8,977	12,821
給料及び手当	1,880	2,336
賞与引当金繰入額	175	248
役員賞与引当金繰入額	4	4
退職給付費用	26	33
賃借料	250	357
貸倒引当金繰入額	0	△0
その他	1,646	1,994
販売費及び一般管理費合計	12,962	17,796
営業利益	600	63
営業外収益		
受取利息	11	16
受取配当金	114	75
その他	154	140
営業外収益合計	280	231
営業外費用		
支払利息	5	5
売電費用	17	17
その他	8	10
営業外費用合計	30	33
経常利益	850	261
特別利益		
固定資産売却益	154	—
投資有価証券売却益	—	71
負ののれん発生益	666	—
特別利益合計	820	71
特別損失		
投資有価証券評価損	71	—
減損損失	36	93
特別損失合計	108	93
税金等調整前四半期純利益	1,562	239
法人税、住民税及び事業税	211	143
法人税等調整額	73	△47
法人税等合計	285	96
四半期純利益	1,277	143
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,274	143

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,277	143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	△56
退職給付に係る調整額	△21	△42
その他の包括利益合計	△424	△98
四半期包括利益	853	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	850	44
非支配株主に係る四半期包括利益	2	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、当社グループの主力販売チャネルにおいては、外出を控えて自宅で過ごす人のいわゆる「巣ごもり需要」がある一方、引き続き外食チェーンの苦戦に加え在宅勤務等による都市部のコンビニエンスストアにおける来店客数の低迷が続いております。当該感染症による影響は不確実性が高く、個人消費が元の水準に戻るにはさらに時間を要すると見込んでいるものの、当連結会計年度の会計上の見積りに重要な影響を与えるものではないと判断しております。

ただし、当該感染症の収束時期や今後の状況の変化によって上記判断を見直した結果、当社グループの財政状態、経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。